

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 22 年 8 月 26 日 (2010.8.26)

【公開番号】特開 2009-21946 (P2009-21946A)
 【公開日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-004
 【出願番号】特願 2007-184655 (P2007-184655)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/387

G 0 6 F 3/12 B

G 0 6 F 3/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 7 月 9 日 (2010.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記憶領域にファイルを格納する画像処理装置であって、

ユーザの操作によって、前記ファイルと、前記ファイルとは異なる他のファイルとを合成するように指示された場合に、前記ファイルと前記他のファイルとに含まれるそれぞれの付加情報データを参照し、一致する付加情報データがあるか否かを判定する一致判定手段と、

前記一致判定手段によって、前記一致する付加情報データがあると判定された場合に、前記ファイルと前記他のファイルとを合成した合成サイズと、基準サイズとを比較するサイズ判定手段と、

前記サイズ判定手段によって、前記合成サイズが前記基準サイズ未満であると判定された場合に、前記ファイル又は前記他のファイルのいずれか一方に含まれる前記一致する付加情報データに、検索対象外であることを示すフラグを付加するフラグ付加手段と、

前記サイズ判定手段によって、前記合成サイズが前記基準サイズ以上であると判定された場合に、前記ファイル又は前記他のファイルのいずれか一方に含まれる前記一致する付加情報データを削除する削除手段と、

前記フラグ付加手段、又は、前記削除手段の結果、新たに生成された合成ファイルを、前記記憶領域に格納する格納手段と、
 を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記格納手段は、前記一致判定手段によって、前記一致する付加情報データがないと判定された場合に、前記ファイルと前記他のファイルとを合成し、前記記憶領域に格納することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記基準サイズが、前記画像処理装置において単位時間当りに転送可能なファイルサイズを示す転送レートと、単位時間当りに転送可能なページ数を示すエンジン速度とから求められることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記基準サイズが、前記記憶領域における未使用の領域のサイズを示すことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の画像処理装置。

【請求項 5】

入力データから、前記入力データに付加情報として付加され前記入力データを検索するために用いられる付加情報データを生成する付加情報データ生成手段を、更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記入力データから、解像度に依存しない解像度非依存データを生成する解像度非依存データ生成手段と、

前記解像度非依存データ生成手段によって生成された前記解像度非依存データから、解像度に依存しビットマップデータに描画展開するために用いられる解像度依存データを生成する解像度依存データ生成手段と、

前記解像度非依存データ生成手段によって生成された前記解像度非依存データと、前記付加情報データ生成手段によって生成された前記付加情報データと、前記解像度依存データ生成手段によって生成された前記解像度依存データとを関連付け、前記ファイルとして前記記憶領域に保存する保存手段と、

を、更に備えることを特徴とする請求項 5 記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記記憶領域は、外部の画像出力装置の記憶領域であって、

前記画像処理装置は、リモートコピーの指示に応じて、入力データに基づいて、前記外部の画像出力装置の記憶領域に前記ファイルを格納する、ことを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 8】

記憶領域にファイルを格納する画像処理方法であって、

一致判定手段が、ユーザの操作によって、前記ファイルと、前記ファイルとは異なる他のファイルとを合成するように指示された場合に、前記ファイルと前記他のファイルとに含まれるそれぞれの付加情報データを参照し、一致する付加情報データがあるか否かを判定する一致判定工程と、

サイズ判定手段が、前記一致判定工程によって、前記一致する付加情報データがあると判定された場合に、前記ファイルと前記他のファイルとを合成した合成サイズと、基準サイズとを比較するサイズ判定工程と、

フラグ付加手段が、前記サイズ判定工程によって、前記合成サイズが前記基準サイズ未満であると判定された場合に、前記ファイル又は前記他のファイルのいずれか一方に含まれる前記一致する付加情報データに、検索対象外であることを示すフラグを付加するフラグ付加工程と、

削除手段が、前記サイズ判定工程によって、前記合成サイズが前記基準サイズ以上であると判定された場合に、前記ファイル又は前記他のファイルのいずれか一方に含まれる前記一致する付加情報データを削除する削除工程と、

格納手段が、前記フラグ付加工程、又は、前記削除工程の結果、新たに生成された合成ファイルを、前記記憶領域に格納する格納工程と、を備えることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 9】

記憶領域にファイルを格納する画像処理プログラムであって、

ユーザの操作によって、前記ファイルと、前記ファイルとは異なる他のファイルとを合成するように指示された場合に、前記ファイルと前記他のファイルとに含まれるそれぞれの付加情報データを参照し、一致する付加情報データがあるか否かを判定する一致判定手段と、

前記一致判定手段によって、前記一致する付加情報データがあると判定された場合に、前記ファイルと前記他のファイルとを合成した合成サイズと、基準サイズとを比較するサ

イズ判定手段と、

前記サイズ判定手段によって、前記合成サイズが前記基準サイズ未満であると判定された場合に、前記ファイル又は前記他のファイルのいずれか一方に含まれる前記一致する付加情報データに、検索対象外であることを示すフラグを付加するフラグ付加手段と、

前記サイズ判定手段によって、前記合成サイズが前記基準サイズ以上であると判定された場合に、前記ファイル又は前記他のファイルのいずれか一方に含まれる前記一致する付加情報データを削除する削除手段と、

前記フラグ付加手段、又は、前記削除手段の結果、新たに生成された合成ファイルを、前記記憶領域に格納する格納手段と、

してコンピュータを機能させるための画像処理プログラム。